

私共、この度同志の者と負傷兵の救護に従事したいとして、お願いしているところであります。この願いが認められたときは、優秀な者を戦地へ派遣いたしますが、その際は経験豊富な西洋人の医師一名を同行したいと思えます。文部省が雇用しているシュルツ医師は軍医であり、もっとも外科を得意とし、経験も豊富であります。同氏を招請すれば、必ず素晴らしい働きをし、特に都合が良いと思えますので、さしあたり同氏を伴って戦地へ赴くことお許しいただきたく、併せてお願い申し上げます。

明治十年四月六日

議官 佐野常民

議官 大給 恒

岩倉右大臣殿